

滋賀

SHIGA

大津支局

〒520-0043
大津市中央1-3-2
077(522)6628(代)
(522)2689
FAX 077(522)6710

通信部
彦根 0749(22)3115
長浜 0749(76)1090
湖南 077(564)7500

広告のご用は
077(522)8339(代)

ニュースのご連絡
は支局・通信部へ

購読お申し込みは
0120-34-3733

鼻からの胃カメラ

大津市

瀬古 修二

(県医師会)

日本人には胃がんの発とも可能です。生が多いことはよく知られており、2005年の診断できるかというところ、患者数は男性約33000人、女性約18000人で、がんの17.4%を占めています。胃がんは、胃カメラはつらい検査と聞いて、一度受



新しい胃カメラ、それが経鼻内視鏡

発見できれば5年生存率はほぼ100%です。治療法も進歩し、早期の場合には胃を切除することなく胃カメラで治療する

触らないのでつらい反射せん。口がぶさがれないが軽く済みます。そして検査中会話が可能で2002年に径5.9mmという細さの極細径胃カメラが登場し、簡単に挿入することが可能となった。理由が舌根に胃カメラがあたり咽頭反射が起こることにより、簡単に挿入する「経鼻内視鏡」が普及し始めました。経鼻内視鏡検査の利点は、検査が楽になったばかりか口が自由なので、画面をいっしょに見ながら検査を進めることができます。実はこの余裕が大事なことで、患者さんが苦しくないと、医師の方もストレスなく胃の細部まで落ちて着いて検査ができます。嘔吐反射が激しいと患者さんが苦しいばかりでなく、検査自体が不十分に終わってしまうことがあり、もちろん、径が細いだけに視野が限られるという心配があります。しかしそれを補うだけの胃カメラの性能の進歩がありますし、先にお話ししたように、あせらずに検査ができるというメリットがあります。楽さだけがすべてではありません。楽でなおかつ正確な診断ができる検査法といえます。

もちろん観察力が良好で新しい診断機能を備えた経口胃カメラ検査も有用です。しかし、つらいことを恐れてためらっていた方が、そんな胃カメラがあるのならと検査を受けていただければ喜ばしい限りです。自分のため、家族のため医師にご相談ください。

家庭健康

彦根市の彦根城内で秋のライトアップ(12月2日まで)が始まった。大名庭園「玄宮園」では虫の声を楽しむ夜間特別公開も開かれ、観光客らが静かに秋の風情を満喫。東へ約1km離れた



虫の音を